

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会  
2018 年度事業報告

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2018 年度の経過

2018 年度の事業として、第 33 回リハ工学カンファレンスを 8 月 29 日から 31 日まで厚木市文化会館で開催し、327 名の参加者と 120 演題の発表があり、公開講座、福祉機器コンテスト 30 周年記念シンポジウム等を実施しました。福祉機器コンテスト 2018 は 7 月に一次選考会、8 月に二次選考会を開催し、機器部門 3 件、学生部門 3 件とそれぞれ 1 件の 30 周年記念特別賞の受賞作を決定しました。受賞作は 10 月 12 日に東京ビッグサイトで開催された国際福祉機器展 (H. C. R. 2018) において本協会のブースに展示し、同会場で表彰式を行いました。受賞作はバリアフリー 2019 (大阪市) においても展示し、多くの関係者の注目を集めました。協会誌は 33 巻 3 号から 34 巻 2 号まで 4 回発行し、34 巻 1 号では福祉機器コンテストの報告書も合わせて会員に発送しました。

分科会・専門委員会関連事業として、SIG 関連では全 10SIG の法人内 SIG 化の検討を進め、支部体制もさらに整備を進めました。災害対策委員会では、JRAT 各種委員会へ委員を派遣しました。また、復興支援活動の一環として第 2 回災害対策セミナーを札幌市で開催しました。広報活動としては H. C. R. 2018、バリアフリー 2019 等においてブースを設け、本協会の活動を PR すると共に、主催者の主催するイベントに協力いたしました。また、国際連携として、RESKO における国際連携に関するシンポジストとして参加しました。

以上のように今年度も多方面にわたる事業を実施して参りました。従来からの事業は縮小せずに、出費を抑える努力を続けてきましたが、財政面では依然として単年度赤字が出る状況が続いています。今後も本協会を継続及び発展させるため、引き続き会員の皆様のご理解とご協力をお願いする次第です。

会長 沖川 悦三

## 1. 社員・会員

### 1-1. 法人社員・会員

2018 年 7 月 1 日 正会員 726 名 (うち社員 (代議員) 84 名)、学生会員 17 名、  
賛助会員数 21 社 (61 口)

2019 年 6 月 30 日 正会員 723 名 (うち社員 (代議員) 84 名)、学生会員 24 名、  
賛助会員数 18 社 (56 口)

## 2. 事業

本協会の主たる事業は、リハ工学カンファレンスの開催、福祉機器コンテストの実施、協会誌の発行、SIG 活動及び委員会活動である。以下に、各事業の 2018 年度の活動を報告する。

### 2-1. リハ工学カンファレンス関連 (担当理事: 剣持悟・鈴木太)

#### 1) 第 33 回リハ工学カンファレンス in あつぎ開催

- ・会期: 2018 年 8 月 29 日 (水) ~ 31 日 (金)
- ・会場: 厚木市文化会館 (厚木市)

大会テーマ: 神奈川の中で、支援技術をかたる～そしてリハビリテーション工学の未来へ～

- ・大会長: 沖川悦三氏 (神奈川リハビリテーション病院 研究部 主任研究員)
- ・実行委員長: 村田知之氏 (神奈川リハビリテーション病院)

- ・参加者総数：327名（内訳：協会・協賛団体員 184名、非会員 86名、学生 24名、初参加の当事者発表者 9名、同行・視察 24名）
  - ・発表演題数：120
  - ・一般演題発表、ポスターセッション、福祉機器コンテスト選考会に加えて、ファーストタイマーズセッション、航空機利用に関する特別企画、福祉機器コンテスト 30周年シンポジウムなどを実施した
  - ・10/8に開催された実行委員会に次回実行委員長とともに参加し、今回の反省点や次回への引継ぎ事項に関して打合せを行った。実施報告書と収支報告書についても議論した
- 2) 第34回リハ工学カンファレンス準備（予定）
- ・会期：2019年8月21日（水）～23日（金）
  - ・会場：北海道科学大学（札幌市）
  - ・大会長：桂律也氏（三草会クラーク病院 リハビリテーションセンター長）
  - ・実行委員長：早川康之氏（北海道科学大学 義肢装具学科 教授）
  - 大会テーマ：リハ工学と看護・介護
  - ・発表演題数：101
  - ・内容：一般演題発表、ポスター発表、福祉機器コンテスト、大会長講演、特別講演、市民公開講座ほか
- 3) 第35回リハ工学カンファレンス準備（予定）
- ・会期：2020年10月24日（土）～26日（月）
  - ・会場：西日本総合展示場新館 3F 会議室および AIM ビル 3F 会議室（福岡県北九州市）
  - ・大会長：繁成剛氏（東洋大学 人間環境デザイン学科 教授）
  - ・実行委員長：中村詩子氏（北九州市立総合療育センター）

## 2-2. 福祉機器コンテスト関連（担当理事：山形茂生）

### 1) 福祉機器コンテスト 2018

- ・応募件数 50件 機器開発部門：24件（昨年 28件） 学生部門：26件（昨年 27件）
- 一次通過作品 機器開発部門：10件 学生部門：10件
- ・第一次選考会 2018年7月7日（土） 応募作品の書類・ビデオ審査  
於：中山福祉機器支援センター（神奈川県横浜市緑区中山町 413-4）
- ・第二次選考会 2018年8月30日（木）  
機器開発部門：プレゼンテーション審査、学生部門：書類・ビデオ審査  
於：第33回リハ工学カンファレンス in あつぎ開催会場内
- ・発表・表彰：第45回国際福祉機器展 H.C.R. 2018 会場内 2018年10月10日（水）～12日（金）
- ・感謝状贈呈式：第45回国際福祉機器展 H.C.R. 2018 会場内 2018年10月10日（水）～12日（金）  
長きにわたりスポンサーとして支えてくださった特別協賛企業のフランスベッド株式会社様と協賛企業様に、表彰式終了後に感謝状の贈呈式を開催した
- ・展示・広報：第33回リハ工学カンファレンス in あつぎ 2018年8月29日（水）～31日（金）  
（受賞作品の実物展示）  
H.C.R. 2018（東京）2018年10月10日（水）～12日（金）  
（表彰式／受賞作品の実物展示）  
P.P.C. 2018（北九州市）2018年11月15日（木）～17日（土）  
（受賞作品のチラシ展示）

## 2) 福祉機器コンテスト 30 周年記念シンポジウム

第 33 回リハ工学カンファレンス in あつぎ (厚木市) 2018 年 8 月 29 日(水)～31 日(金)

- ・期間中に過去の受賞作品の展示及び受賞者によるシンポジウム

## 3) 福祉機器コンテスト 2019

特別協賛 (予定) : フランスベッド株式会社

- ・協賛 (予定) : 株式会社有菌製作所、川村義肢株式会社、株式会社ケープ、日陶科学株式会社、株式会社ミクニライフ&オート、株式会社モリトー
- ・後援 (予定) : 厚生労働省、経済産業省、公益財団法人テクノエイド協会、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会、一般社団法人日本作業療法士協会
- ・福祉機器コンテスト 2019 選考委員会の設置 (2019 年 4 月 1 日～)
- ・募集対象 : 機器開発部門、学生部門
- ・広報開始・応募要綱配布 : 2019 年 4 月中旬
- ・募集期間 : 機器開発部門 2019 年 5 月～6 月、学生部門 2019 年 5 月～7 月
- ・展示・広報 : バリアフリー 2019 (大阪) 展示会 2019 年 4 月 18 日(木)～20 日(土)  
ウェルフェア 2019 (名古屋) 展示会 2019 年 5 月 30 日 (木) ～6 月 1 日 (土)

## 2-3. 協会誌関連 (担当理事 : 石濱裕規・桂律也)

### 1) 協会誌発行

以下を発刊した。

- ・vol. 33 No. 3 2018/ 8 特集「遊び 最近の動向」
- ・vol. 33 No. 4 2018/11 特集「人工内耳」
- ・vol. 34 No. 1 2019/ 2 特集「リハビリテーション工学の卒前教育の現状と課題」
- ・vol. 34 No. 2 2019/ 5 特集「認知症のある人を支援する」

### 2) 編集委員会の開催

- ・年 4 回、協会誌の発行に併せて会場確保を行い、編集委員会を開催した。新規編集委員 4 名は公募者、ならびに公募期間後の編集委員会にて定足数 4 名が定まった

### 3) 査読体制

- ・年度内の新規投稿は 5 件、研究論文 4、技術報告 1、いずれも査読中である

### 4) 協会誌投稿規定の見直し

- ・協会誌投稿規定検討委員会を 2 回開催し、投稿規定、査読規定と整合性を有した編集委員会内規策定等を検討した

### 5) 協会誌の電子化

- ・J-STAGE 登載のための XML テンプレート作成を担当理事にて進め、登載作業を編集委員会に実施委託する予定であったが、作業量を鑑み、外部委託を含めた見直しを行っている。J-STAGE センターに当協会誌に適切な登載手続について照会を進めた

## 2-4. 分科会・専門委員会 (担当理事 : 二瓶美里・金井謙介・中村俊哉)

### 1) SIG 活動支援

- ・現在ある 10 SIG の活動を支援するために、協会誌やホームページへの講習会等の情報掲載と書式の整備、各種展示会における案内チラシの配布を行った
- ・SIG 代表者会議での意見を受けて、全 SIG が法人内 SIG へと移行できるよう、SIG のあり方に関する

る検討を行い、各 SIG 代表者との意見交換を行った

2) 支部再編の推進及び既設支部への活動支援

- ・会員への支部に関する情報周知の目的で、協会誌に支部インフォメーションを掲載した
- ・さらに支部の活動支援を目的に、リハ工学カンファレンス内にて支部ミーティングの場を設定するよう、カンファレンス実行委員会等と調整を行った

3) 災害対策委員会の運営

- ・JASPA ((一社) 日本福祉用具・生活支援用具協会) 車椅子・姿勢保持部会主催の「第 8 回災害復興車椅子メンテナンス in 朝倉」に有志 9 名で参加した (2018 年 11 月 21 日～22 日)
- ・JRAT 各種委員会 (戦略会議、広報委員会、研修企画委員会) および RRT 隊員養成研修会へ委員の派遣を行い、JRAT 加盟各団体との協力関係の構築および JRAT 内における当協会の役割の精査を行った。また委員会内でメーリングリストにて情報共有を行った
- ・2 年間の設置期間の延長を行い、今後の活動計画の検討を行った

4) 復興支援講習会開催

- ・災害対策委員会の活動の 1 つとして、第 2 回災害対策リハ工学セミナーの企画運営を行った。セミナーは 2019 年 5 月 11 日に札幌医療リハビリ専門学校 (札幌市) にて、『つくってみよう！強化段ボールでつくるイスやテーブル』と題したワークショップと、『大規模災害とリハ工学 ―災害にリハ工学ができること―』と題したシンポジウムの 2 部構成で開催した

2018 年度 SIG 活動報告 期間：2018 年 7 月～2019 年 6 月 ※会員数 (協会員数) は 2018 年 6 月 1 日現在

<b>SIG 姿勢保持</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/posi-sig/">http://www.resja.or.jp/posi-sig/</a>	会員数：176 名 (38 名)
代表者：繁成剛 (東洋大学)	事務局長：児玉真一 (横浜市総合リハビリテーションセンター)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハ工学協会事業への協力</li> <li>・役員会の開催：日程：2019 年 1 月 6 日 オンライン会議 (司会：横浜市総合リハビリテーションセンター)</li> <li>・書籍 (小児から高齢者までの姿勢保持・第 2 版) や資料集 PDF 版の販売</li> </ul>		
<b>車いす SIG</b>	<a href="https://www.resja.or.jp/wc-sig/">https://www.resja.or.jp/wc-sig/</a>	会員数：110 名 (62 名)
代表者：松尾清美 (佐賀大学)	事務局長：深野栄子	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講習会開催：2018 年 9 月 1 日・2 日 アミューあつぎ (厚木市)</li> <li>・講習会開催：2019 年 2 月 16 日・17 日 横浜市スポーツ医科学センター (横浜市)</li> <li>・WEB サイト運営、テキスト発行 (年 2 回)、分科会 (BOG) 活動、大規模災害復興支援、協会事業への協力 他</li> </ul>		
<b>自助具 SIG</b>		会員数：9 名 (9 名)
代表者：岡田英志 (ヒューマン)	事務局長：岡田英志 (ヒューマン)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸し出し用自助具箱の作成 (貸出 1 件 西九州大学)</li> <li>・Facebook を利用した情報発信</li> </ul>		
<b>乗り物 SIG</b>	<a href="https://ameblo.jp/sunrisejp007/">https://ameblo.jp/sunrisejp007/</a>	会員数：5 名 (5 名)
代表者：岩崎満男 (榊ファーストウェルフェア)	事務局長：増子千景 (WILD GATE)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・分科会 (BOG) 活動、協会事業への協力 他</li> <li>・SIG の FB/HP 更新など</li> </ul>		
<b>SIG 褥そう防止装置</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/sig-pmps/">http://www.resja.or.jp/sig-pmps/</a>	会員数：20 名 (20 名)
代表者：新妻淳子 (国立リハセンター研究所)	事務局長：河合俊宏 (埼玉県総合リハビリテーションセンター)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・HP の更新、褥瘡学会との連携 (委員派遣・セミナーの後援)</li> </ul>		
<b>コミュニケーション SIG</b>	<a href="https://www.resja.or.jp/com-sig/">https://www.resja.or.jp/com-sig/</a>	会員数：67 名 (20 名)
代表者：渡辺崇史 (日本福祉大学)	事務局長：上野忠浩 (横浜市総合リハビリテーションセンター)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション SIG 講習会で使用する操作スイッチの購入検討</li> <li>・「かながわ難病等リハビリテーション支援連絡会」の講習会 (2018. 10. 20-21) に共催</li> </ul>		
<b>SIG 住まいづくり</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/sumai-sig/">http://www.resja.or.jp/sumai-sig/</a>	会員数：107 名 (60 名)
代表者：橋本美芽 (首都大学東京)	事務局長：鈴木基恵 (横浜市総合リハビリテーションセンター)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・WEB サイトリニューアル検討</li> </ul>		
<b>特別支援教育 SIG</b>		会員数：5 名 (5 名)
代表者：松田靖史 (川村義肢株)	事務局長：高原光恵 (鳴門教育大学)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援関連企画への専門家紹介、実施協力など</li> <li>・個別問い合わせへの対応 (情報提供)</li> </ul>		

<b>移乗機器 SIG</b> <a href="http://www.reha.kobegakuin.ac.jp/~hp-reha/transfer/index.html">http://www.reha.kobegakuin.ac.jp/~hp-reha/transfer/index.html</a> 会員数：136名（23名） 代表者：古田恒輔（神戸学院大学）      事務局長：青木久美子（宇部記念病院訪問リハビリテーション） ・移乗機器SIG講習会2019 in 神戸 開催（2019年1月26日（土）・27日（日）：神戸学院大学） ・ニュース発行（1回）      ・役員会の開催
<b>義肢装具 SIG</b> <a href="http://www.resja.or.jp/po-sig/">http://www.resja.or.jp/po-sig/</a> 会員数：132名（37名） 代表者：笹川友彦（熊本総合医療リハビリテーション学院 義肢装具学科）      事務局長：砂野義信 ・講習会開催：2018年9月1日（土）・2日（日） 義肢装具SIG第14回講習会 神奈川リハビリテーション病院（神奈川県厚木市） ・WEBサイト運営

## 2018年度支部活動報告      期間：2018年7月～2019年6月

<b>東日本支部</b> 世話人：桂律也      事務局長：新体制に向けて検討 ・2018年度は、さっぽろカンファレンス準備もあって、組織の再構成を実施することができなかった。 ・協会主催の災害対策セミナーに共催し、準備・広報に一部の道内メンバーが協力した。
<b>関東・甲信越支部</b> 支部長：沖川悦三（神奈川総合リハビリテーションセンター）      事務局長：村田知之（同左） ・第33回リハ工学カンファレンス in あつぎ 運営など(2018年8月) ・第45回 国際福祉機器展 H.C.R.2018 リハエブースにて説明/相談、セミナーなど(2018年9月)
<b>中部支部</b> 支部長：渡辺崇史（日本福祉大学）      事務局長：新体制に向けて検討 ・新区割りでの運営体制の検討
<b>関西支部</b> 支部長：相良二朗（神戸芸術工科大学）      事務局長：糟谷佐紀（神戸学院大学） ・バリアフリー2019 リハエブース運営協力：2019年4月18日（木）～20日（土） インテックス大阪（大阪市） ・バリアフリー2019の出展社ワークショップ開催協力：2019年4月20日（土） インテックス大阪ワークショップ会場 第1会場（大阪市）『電動車いすでどこでも行こう！～ローカル線を乗り鉄旅～』 ・関西支部シンポジウム『バリアフリー・ユニバーサルデザインの一歩先の展開 ～社会的包摂に向けてのインクルーシブリサーチとは～』 2018年12月1日（土）14時～16時15分、 学校法人谷岡学園梅田サテライトオフィス、28名参加” ・役員会：2018年8月29日（水）16時半～17時半、厚木市文化会館4階休憩スペース、8名出席
<b>中国・四国支部</b> 世話人：下元佳子（一社）ナチュラルハートフルケアネットワーク      事務局長：高橋一郎 ・2018年6月29日（金）～7月1日（日） 第17回高知ふくし機器展 バリアフリーフェスティバル2018 リハエブースとして参加 ・2019年4月27日（土） 第8回合同シンポジウム in 香川を「障害当事者こそが変える！人出不足の介護現場」をテーマに開催
<b>九州支部</b> 支部長：松尾清美（佐賀大学）      事務局長：小林博光（総合せき損センター） ・第20回西日本国際福祉機器展リハエブースにてパネル展示。リハエやコンテストの説明や相談等。 2018年11月15日（木）～17日（土） 西日本総合展示場（北九州市）

### 2-5. 企画推進事業（企画担当理事：中村俊哉・麩澤 孝／事業統括理事：金井 謙介）

協会の広報活動及び会員獲得に向けた PR 活動、公益活動のために以下の展示会出展及び出展社セミナー等の開催を行った。

#### 1) 学会展示会、広報活動強化

各地域支部協力の下、以下の展示会へブース出展し、広報活動を行った。

- ・第45回国際福祉機器展(H.C.R.2018) (2018年10月10日（水）～12日（金） 於：東京ビッグサイト（東京）にてブース出展を行った
- ・第20回西日本国際福祉機器展 (P.P.C.2018) (2018年11月15日（木）～17日（土） 於：西日本総合展示場新館）九州支部の協力の下、広報を行った
- ・バリアフリー2019 (2019年4月18日（木）～20日（土） 於：インテックス大阪（大阪市）に関西支部協力の下ブース出展を行った
- ・第15回新潟福祉機器展 (2019年5月10日（金）～12日（日） 於：新潟市産業振興センター（新

鴻市)) にブース出展を行った

## 2) セミナー開催

以下のセミナーを開催した。

- ・第45回国際福祉機器展(H.C.R.2018)において、出展者プレゼンテーション「強化段ボールを使った福祉用具のデザインと被災地支援」(講師:繁成剛氏(東洋大学)、2018年10月12日(金))を企画・開催した
- ・バリアフリー2019において、バリアフリー・ワークショップ「電動車いすでどこでも行こう!～ローカル線で乗り鉄旅」(講師:麩澤孝氏、4月20日(土))を関西支部の協力の下、企画・開催した

## 3) 災害対策セミナーの開催

- ・第2回災害対策リハ工学セミナーin札幌(2019年5月11日(土))於:札幌医療リハビリ専門学校(札幌市)を災害対策委員会・第34回リハ工学カンファレンス実行委員会の協力の下、企画・開催した

## 4) 合同シンポジウムの開催

- ・全国頸髄損傷者連絡会、一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワークとの第8回合同シンポジウム「障害当事者こそが変える!人手不足の介護現場～だれのため?みんなのため!みんなで考えよう!～」(2019年4月27日(土))於:かがわ総合リハビリテーションセンター(高松市)を中国・四国支部協力の下、企画・開催した

## 5) 情報保障の推進

- ・リハ工学カンファレンスinあつぎにおいて、市民公開講座等で情報保障を行った。その他シンポジウム等の事業での実施はなかったが、今後に向けて方法等の検討を進めていく

## 6) その他

- ・有料セミナー等の新たな事業の検討  
協会の活性化を目的とした、有料セミナー等の事業の検討を行った。収益事業等の検討
- ・「頸損解体新書2020」の制作に係る検討及び準備  
「頸損解体新書2020」の制作に向け、全国頸髄損傷者連絡会と共に準備を開始した。

## 2-6. 国際関連の事業(担当理事:桂律也・石濱裕規)

### 1) 国際関連団体との相互協定に基づく交流

- ・2019年リハ工学カンファレンスは、WHO・GATEジュネーブ会議、ARATA/i-CREAtEなどとの日程がタイトであったため、開催の案内を送るにとどめた
- ・RESKOからの要請で、国際連携に関するシンポジウムのシンポジストとして、井上剛伸氏(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)に依頼した
- ・支援技術専門家組織連合(AATPO)への加入継続としていたが、同組織は国際支援技術組織連合(IAATO)と改称し、規約を定め、新たな参加組織を募っていく方向で、作業進行中である

### 2) 国際連携推進委員会の開催

- ・対面会議は実施しなかったが、メーリングリストで緊密な連携をとった
- ・国際連携推進委員会の内規と名簿を作成 HPへの掲載準備を進めている

### 3) その他

- ・第17回国際義肢装具協会(ISPO)世界大会(2019年10月、神戸)事務局からの要請を受け、シンポジウム「Assistive Technologyで高齢化社会に立ち向かう」のシンポジストとして、井上剛伸氏を推薦した

### 3. 総務

#### 3-1. 規則・選挙（担当理事：水澤二郎）

##### 1) 規程の整備

- ・2018年度定時社員総会第6号議案「年会費の値上げ」の決議を受けて、定款施行細則第34条の改定を行った
- ・各種規則等の規定状況についてその内容を精査し、運用上の問題点や改定の必要性の有無を確認した

##### 2) 代議員選挙、役員選挙

- ・選挙管理委員会と共に、補欠役員（理事）立候補者を確定し、定時社員総会に諮る準備を進めた
- ・選挙管理委員会の任期満了に伴い、新たな選挙管理委員会を発足（留任）し、当該委員会業務に関する確認及び取りまとめを行った
- ・代議員並びに役員（理事）の任期満了に伴い、代議員選挙、役員候補者選挙を行った

#### 3-2. 財務（担当理事：岡野善記）

- ・法人会計管理を行った
- ・より詳細に経費内容を分析できるよう新コード作成し実行した
- ・法人移行時からの仮受金について詳細を確認し適切に処理を行った

#### 3-3. 総会・理事会等会議開催（担当理事：江原喜人）

##### 1) 2018年度定時社員総会を開催

- ・2018年8月30日12:45～13:35、厚木市文化会館1階 小ホールにおいて定時社員総会を開催した

##### 2) 2018年度第1回（通算第49回）～第6回（通算第54回）理事会の開催

- ・2018年7月22日、8月30日、10月28日、12月9日、2019年3月17日、6月16日に理事会を開催した

#### 3-4. 広報・渉外（担当理事：杉本昌子・鈴木太）

##### 1) 協会ホームページ運用

- ・リニューアルに伴う安全面・機能面を考慮しSSL認証を取得した
- ・各支部、各SIGへ広報のための支援を行った
- ・イベント、セミナー情報、協会誌、カンファレンス等、適宜更新作業を行った
- ・理事会外での運用については継続して検討を進める

##### 2) Web管理委員会

- ・ML配信（14件）/Facebook投稿（18件）/FreeML配信（37件）/ML登録（31件）
- ・Googleアカウントを取得し、Googleフォームを活用したセミナー申込フォーム、アンケート回答フォームを運用し、アクセシビリティ改善と共に、事務局負担の軽減を図った
- ・同上アナリティクスの活用により、協会HPのアクセス解析を実施し、毎理事会にて結果を報告した
- ・チャットワーク（NPO支援プログラム）の運用を各委員会にて開始し、スムーズな意見交換ができる環境を整備した

##### 3) 協会リーフレット

- ・入会案内、3つ折りリーフレットのデータの更新を行った

#### 4. 事務局（事務局統括理事：沖川悦三）

1) 事務局運営

法人としての事務局を運営し、法人会計の更なる整備を進めた。

2) 展示会出展における広報活動を行った

5. 後援・協賛事業

2018年度は以下の事業の後援・協賛を行った。

No		団体名	開催日程	内容
1	後援	福祉用具プランナー研究ネットワーク	2018/7/15	プラネット第4回研究大会
2	後援	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団	2018/7/20～21	ヨコハマ・ヒューマン&テクノロジー2018
3	後援	一般社団法人日本福祉のまちづくり学会	2018/8/8～11	日本福祉のまちづくり学会 第21回全国大会
4	後援	特定非営利活動法人 医療ネットワーク支援センター	2018/9～2019/3	第6回ウェルフェアデザインコンテスト
5	協賛	特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会	2018/9/5～7	ヒューマンインタフェースシンポジウム2018
6	協賛	一般社団法人日本生活支援工学会	2018/9/6～8	学術講演会L I F E 2 0 1 8
7	後援	一般社団法人日本作業療法士協会	2018/9/7～9	第52回日本作業療法学会
8	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2018/9/10～12	ライフエンジニアリング部門シンポジウム2018 (LE2018)
9	後援	一般社団法人ナンフェス	2018/9/17	ウォーク&ランフェスタ2018
10	後援	日本身体障害者補助犬学会	2018/10/6～7	日本身体障害者補助犬学会第11回学術大会
11	後援	NPO法人ケアリフォームシステム研究会	2018/10/27	ケアリフォームシステム研究会 全国大会in沖縄
12	後援	一般社団法人日本義肢装具学会	2018/11/10～11	第34回日本義肢装具学会学術大会
13	協賛	バイオメカニズム学会	2018/11/10～11	第39回バイオメカニズム学術講演会
14	後援	特定非営利活動法人 バイオフィリア リハビリテーション学会	2018/11/10～11	第22回バイオフィリアリハビリテーション学会大会
15	協賛	西日本国際福祉機器展実行委員会	2018/11/15～17	P. P. C. 2018第20回西日本国際福祉機器展
16	後援	特定非営利活動法人日本シーティング・コンサルティング・コンサルタント協会	2018/11/17～18	第14回日本シーティング・シンポジウム
17	後援	介助犬のひろば実行委員会	2018/12/2～4	介助犬のひろばin北河内2018
18	協賛	感覚代行研究会	2018/12/3～4	第44回 (2018年) 感覚代行シンポジウム
19	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2018/12/13～15	第19回SICEシステムインテグレーション部門講演会

20	後援	日本チェアスキー協会	2019/2/22~24	障害者スキー普及講習会 第40回日本チェアスキー大会
21	協力	日本身体障害者補助犬学会	2019/3/26	航空関係者対象 車椅子・電動車椅子取扱いセミナー
22	後援	公益社団法人日本理学療法士協会	2019/5/25~26	第54回日本理学療法学会学術研修大会 in徳島2019
23	後援	第1回福祉用具専門相談員研究大会	2019/6/17	第1回福祉用具専門相談員研究大会
24	協賛	一般社団法人日本交通科学学会	2019/6/20~21	第55回日本交通科学学会総会・学術講演会

下線は新規事業